

文化交流都市 笠間 ～未来への挑戦～

令和6年度予算を審査しました

一般会計合計 340億6,000万円
(令和5年度 332億7,000万円)

前年度比 **2.4% UP**

今期定例会に、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた、令和6年度予算が市長から提案されました。はじめに、予算の主な使い道についてお知らせいたします。

特別会計・企業会計の令和6年度会計別予算の状況 (千円)

会計名	予算額	会計名	予算額
特別会計		特別会計	
国民健康保険特別会計	7,553,000	病院事業会計	1,094,216
後期高齢者医療特別会計	1,214,000	水道事業会計	3,392,023
介護保険特別会計	7,881,000	工業用水道事業会計	29,579
介護サービス事業特別会計	21,000	下水道事業特別会計	4,147,119
		一般会計も含めた予算合計	59,391,937

【参考】令和5年度当初予算合計 60,013,909

重要事務事業2024 7分野の主な事業

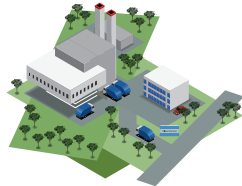
第1章 都市基盤

- 幹線・生活道路の整備
985,628千円
- 交流拠点機能の強化
368,885千円



第2章 生活環境

- 地域災害対応・防災力の強靱化
69,317千円
- 資源循環型地域づくりの促進
469,415千円



第3章 健康・福祉

- 切れ目のない包括的支援体制の構築
352,899千円
- 幼児保育・教育環境の構築
2,040,498千円



第4章 産業

- 農業生産環境・担い手確保の強化
41,132千円
- 水田の畑地転換・整備促進による農業基盤の強化
203,144千円



第5章 教育・文化

- 笠間っ子学力・運動能力の向上
148,951千円
- 教育基盤の充実
518,174千円



第6章 地域づくり

- ダイバーシティ都市づくりの推進
19,967千円



第7章 自治体運営

- 既存ストックの適正管理と利活用の推進
10,924千円
- 公民連携推進・行政経営人材の育成
10,187千円



令和6年度重要事務事業では、
・笠間まるごと『子育て都市』宣言プロジェクトStage2
・地域の稼ぐ力強化プロジェクト
・女性・若者活躍促進プロジェクトを重点プロジェクトとして
全部で48事業あります。全ての事業をご覧になりたい場合は、市ホームページにアクセスしてください。





予算特別委員会の審査の経過

予算特別委員会

予算特別委員会を開催し、令和6年度予算の審査しました。審査の過程での主な質疑等について紹介します。

職員の自己啓発に対する補助制度(秘書課所管)

問 職員の自己啓発に対する補助の実施予定は。

答 自己啓発休業制度を利用した職員が1年間大学に就学し資格取得を目指す。この期間が無給となってしまうため学費の2分の1を補助。

意見 自己啓発を推進し、より一層の職員の資質向上を図ってもらいたい。

病児保育の受け入れ状況(市立病院所管)

問 病児保育の患者数はどのくらいか。また、コロナ禍と比較して増加しているか。

答 令和6年2月末現在で累計133名の患者を預かっている。コロナ禍からほぼ横ばいで推移している。



拠点避難所の追加と物資の充実(危機管理課所管)

問 令和6年度に追加する拠点避難所は。また、プライベートテントや給水タンクなどの資機材は全地区に配置されるのか。

答 友部二中和B&G海洋センターを追加し、笠間地区3か所、友部地区3か所、岩間地区2か所の計8か所となる。プライベートテントや組み立て式給水タンクも順次誠整備していく予定。

外国人介護人材の受入支援は。(高齢福祉課所管)

問 外国人介護人材の受入に対する支援の概要は。

答 市単独で外国人労働者を探すことは困難なため、国指定の機関を経由して事業所単位で人材を探し、受け入れた事業者に対し補助金を交付するという形で支援する。

市内での創業に対する支援制度(商工課所管)

問 「創業支援補助金」と「女性創業支援事業補助金」の違いは。

答 「創業支援補助金」は小売業・飲食・生活関連サービス業で年間の営業日数が200日以上。「女性創業支援事業補助金」は笠間市に住民票のある女性を対象とし、業種は幅広く、営業日数も年間150日以上と緩和している。両事業とも1日あたりの営業時間は3時間以上、事業が3年以上継続が見込まれるという条件は共通。

意見 開始時期など、年度単位でなく流動的に受入れられるようにしていただきたい。



橋梁の点検と修繕工事の現状(管理課所管)

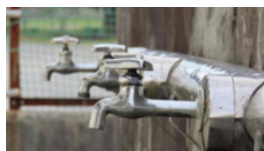
問 橋梁点検に基づく維持補修整備工事の現状は。高速道路に架かる橋も対象となるのか。

答 橋梁は道路法で5年ごとの定期点検が定められており、市では令和6年度から5年間のスパンで全橋梁を点検していく。幹線道路を中心に付いていくが、狭あいの橋、小さな橋も含めて全て点検を実施する。高速道路に架かる橋も対象で、ネクスコ東日本と協議の上進めている。

水道配水管の耐用年数(水道課所管)

問 市内の水道の配水管の耐用年数と状況は。

答 配水管の法定耐用年数は40年となっており、市内に埋設されている配水管のうち、40年を経過しているものは約126キロメートル。計画を立てて順次更新を進めている。



3月6日～8日の3日間にわたり執行部との活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、すべての会計を原案のとおり可決すべきものとしました。

定例会最終日(3月15日)の本会議で、田村泰之委員長が審査結果を報告し、採決の結果、

令和6年度の全ての予算は

可決 しました。

【予算特別委員会 委員】

委員長：田村 泰之
副委員長：鈴木 宏治
委員：長谷川愛子・坂本奈央子
内桶 克之・田村 幸子
石井 栄・畑岡 洋二
石松 俊雄